



れんごろう 青森

発行 日本労働組合総連合会
青森県連合会(連合青森)
発行人 山内裕幸 編集人 堤 史子
青森市本町3丁目3の11
青森県労働福祉会館内
TEL (017)735-0551
FAX (017)735-0553
URL <http://aomori.jtuc-rengo.jp/>
月1回発行 1部10円
(組合員の購読料は会費の中に含む)

安心・安全・安定した県民生活の実現をめざして

雇用・労働、子育て・教育など7分野19項目を県に要請



連合青森は8月31日(月)、2020年度政策・制度要求と提言「安心・安全・安定した県民生活の実現をめざして」と題し、県に政策要請を行った。

この要請は政策課題について意見をまとめ、翌年度の県の施策に反映させるために実施している。

現在、新型コロナウイルスの全世界的感染拡大により経済・社会・雇用への影響は計り知れず、生活困窮や事業継続の危機への迅速かつ継続的対応が求められている。経済の自律的かつ持続的な成長を一刻も早く取り戻し、県民の将来不安の払拭に向け、誰もが安心して生活できる元気で魅力ある青森づくり、安定した雇用システム、また安心できる社会保障の再構築等の実現に向け、今年度の要請は①雇用・労働、②子育て・教育、③地域活性化、④公共交通、⑤農林漁業、⑥資源・エネルギー、⑦新型コロナウイルス対策の7分野19項目にわたってまとめられた。医療従事者の労働環境改善や感染防止対策の強化、マスク、防護服等の備蓄指針の見直しなどの新型コロナウイルス対策や、多胎児支援、公共交通のキャッシュレス化の促進が今年度新たに盛り込まれた。

この日の要請には、連合青森から塩谷進会長を始め3名と推薦議員の一戸富美雄県議会議員と田中満県議会議員、鶴賀谷貴県議会議員が出席し、県は三村申吾知事、相馬雄幸商工労働部長など4

名が対応した。

要請書を手渡した塩谷会長は「感染拡大により雇用・労働情勢は悪化し、県内においても915人が解雇されている。今後さらに厳しくなると認識している。提言に込めた思いにご尽力いただきたい」と要望した。

三村知事は「どの項目も重要な課題。継続し政策を実行することで県民に安心して生活してもらいたい」と回答した。

県からの回答は来年1月の予定となっている。

連合青森第21回地方委員会

連合青森第21回地方委員会を下記にて開催する。

【日時】2020年10月29日(木) 14:00

【場所】「八戸パークホテル」
八戸市吹上1丁目15-90

- 【議題】(1) 第20回地方委員会以降の活動報告
(2) 2020年度会計報告
(3) 2020年度会計監査報告
(4) 2020～2021年度運動方針補強案
(5) 2020年度一般会計収支剰余金処理案
(6) 2021年度予算案
(7) 第16期役員補強案
(8) その他

得意分野を他産別へつなげていく取り組みで連合運動の強化を！

2020年第2回連合青森構成組織出身議員意見交換会

連合青森は8月20日（木）、青森県労働福祉会館にて「2020年第2回連合青森構成組織出身議員意見交換会」を開催し、連合青森政治センター幹事や組織内議員26名が参加し、政治的課題や政策的課題等について意見交換をした。

主催者あいさつに立った連合青森塩谷進会長は「連合運動の観点からみると組織内議員の地域における他産別との関係は弱いように感じられる。運動強化と組織内議員の必要性を組合員に示すためにも、互いの得意分野を他産別へつなげていくヨコのつながりが重要となっている」と強調した。

続いて課題提起に入り、各議会での活動状況や政策関連等について意見交換に入った。

意見交換では、八戸市において議員定数が4名減の28名になることや、公契約条例について理念型で県内初の制定となる等の報告があった。また「災害時の議会の在り方について行動指針の策定が必要」やコロナ禍における継続的な教育体



政策課題について多くの意見が出た懇談会



構成組織出身議員12名が集まる

制について「WEB授業を可能にするため、予算のない自治体へは県が補助する流れを作るべき」や「学校によってハード面でのスキルバランスは区々な現状にある。スキルの高い専門職を各学校に派遣してはどうか。離職者対策にもつながる」等、様々な意見が出された。

毎月5日は『連合の日』

連合では毎月5日を『連合の日』と設定し、組織活動の活性化をはかり運動の輪・信頼の輪を広げるべく各種取り組みを行うこととしている。

連合青森も『連合の日』について5日を中心に街宣行動を主として取り組み、連合青森として抱える課題の共有化、各産別・産業にある現状課題を県民に対し、広く訴えていくこととした。

8月の取り組みは、コロナ禍における県内の雇用情勢報告や、時間外・休日労働に関する協定「36協定」を改めて周知することとなった。

また連合青森推薦議員の田名部匡代参議院議員や一戸富美雄県議、今博県議も参加し、現在の政治情勢や各議会などで抱える課題について訴える街頭行動となった。



8月連合の日。齊藤副会長④も参加



コロナ禍での雇用情勢を報告する塩谷会長⑤

基幹産業である漁業に触れ、自然の大切さを学ぶ

教育・文化活動「連合青森地引網体験&清掃活動」を開催

連合青森は教育・文化活動の一環としてこれまで「囲碁将棋大会」や「カラオケ大会」、「カーリング大会」を開催してきた。今年は老若男女を問わず組合員家族皆で楽しみながら、青森県の基幹産業である漁業について理解を深めてもらい、また豊かな自然を守り続けることの大切さを再認識することを趣旨に、9月5日（土）、好天の中、平内町「もうらだいすき海岸」で「連合青森地引網体験&清掃活動」を開催し、各組織から35名の組合員とその家族が参加し、自然の大切さを学んだ。

地引網体験前段に行われた清掃活動では、海岸

皆で掛け声をかけ引つ張り上げた地引網



家族皆で取り組んだ清掃活動



清掃活動で一汗かき集めた参加者たち



網にかかった魚に夢中になるお子さんたち

沿いの岩場などに捨てられたプラスチックごみや、打ち上げられた漂流物を皆で汗をかきながら拾い、続いて行われた地引網体験では大半が初心者で生きた魚に触るのは初めてというお子さんも多くいる中、皆で「えい、えい」と掛け声をかけながら網を引き上げた。サイズは小さいがメバルやカマス、アオリイカなどがたくさん入った網に子どもたちは「ワー生きてる!」「この魚なに!」など歓声を上げながら触ったり、夢中になっていた。

その後の昼食はバーベキューを囲み、平内町漁協提供の新鮮なホタテなどを頬張り盛り上がった。

「第28回食・みどり・水のフェスティバル」開催中止のお知らせ

「青森県の美味しい食べ物と水、豊かな自然を守り育て、地産地消を広げよう」という趣旨で毎年開催してきた「食・みどり・水のフェスティバル」ですが、新型コロナウイルス感染拡

大防止の観点から今年度は中止することとなりました。

次年度以降の開催に向け、検討を続けていきますので、ご理解をお願いいたします。

気づこう、アンコンシャス・バイアス

真の多様性ある職場を

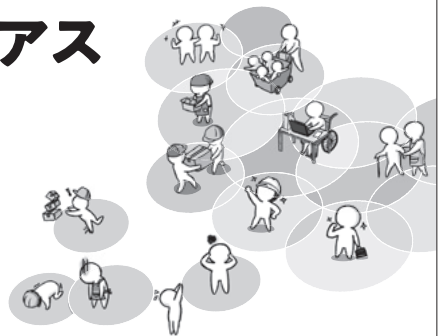
▶「診断」にチャレンジ!!

「親が単身赴任中」と聞くと、父親を想像する(母親を想像しない)

あなたの中の“無意識の思い込みや偏見”をさぐってみませんか?



10月30日まで



「マスクをつなごう運動」 集約結果報告

6月中旬より7月末までの1ヶ月半、県民生協、各地協を中心に県内20ヶ所に「不要マスク回収ボックス」を設置し寄付を募った「マスクをつなごう運動」において、4,674枚ものマスクが寄せられました。組合員や多くの一般の方から寄付いただき、連合の共助という形での顔の見える運動の広がりを実感する結果となりました。

今後は頂戴したマスクを福祉団体へ橋渡しすることとしております。

多くの皆様よりたくさんの善意をいただきました。この場を借り感謝申し上げます。

ご協力ありがとうございました！



マスクの種類	枚数
政府配布の布製マスク	2,689枚
不織布マスク	1,680枚
その他のマスク	305枚

ワークルール検定 2020・秋(初級)

<後援>厚生労働省
日本生産性本部



2020年11月23日(月・祝) 11:00~11:45

■会場：青森県観光物産館アスパム 5階「あすなる」
(青森市安方1-1-40)

■募集人員：50名

■募集期間：2020年9月2日(水)~10月22日(木)

～職場で役立つ法律知識を身につけられます！～

※申込み・詳細はウェブサイト (<http://workrule-kentei.jp>)

または連合青森 (017-735-0551) へ

一般社団法人日本ワークルール検定協会

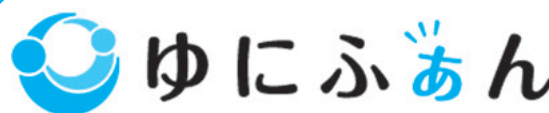


2020年9月行動予定

- 9月11日(金) 18時 青森市内
「青森県経営者協会との懇談会」
- 9月16日(水) 11時 県労働福祉会館
「マスクをつなごう運動・マスク贈呈式」
- 9月18日(金) 13時 県労働福祉会館
「第10回執行委員会」
- 9月26日(土) 14時 青森公立大学
「青年委員会役員研修会」

2020年10月行動予定

- 10月7日(水)11時30分 さくら野青森店前
「連合の日街頭行動」



労働組合や地域のNGO・NPOによる
「支え合い・助け合い」活動サポート



新型コロナウイルスにより
助けを求めている方々へ

想いを届けよう。

ゆにふあんマップを
のぞいて!

